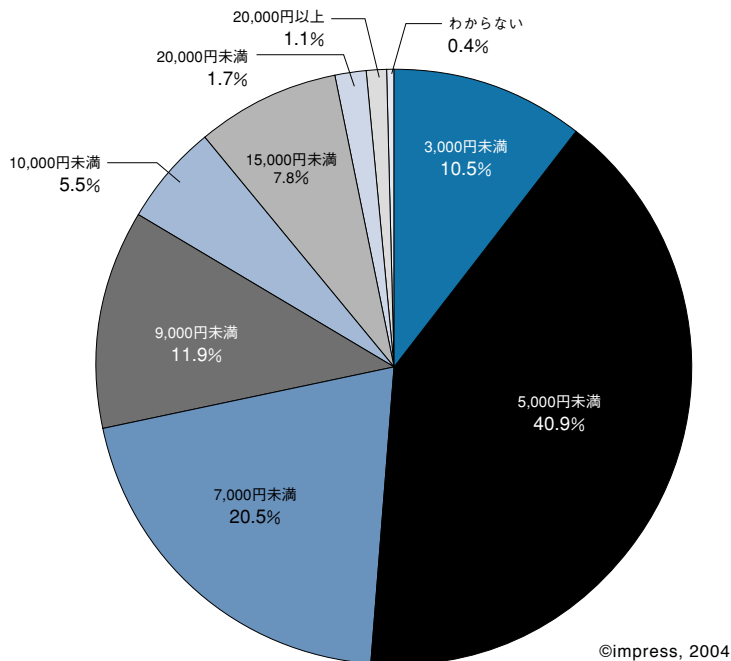


## 利用料金とパケット利用

### 1か月に支払う携帯電話の料金は5,000円未満が約半数

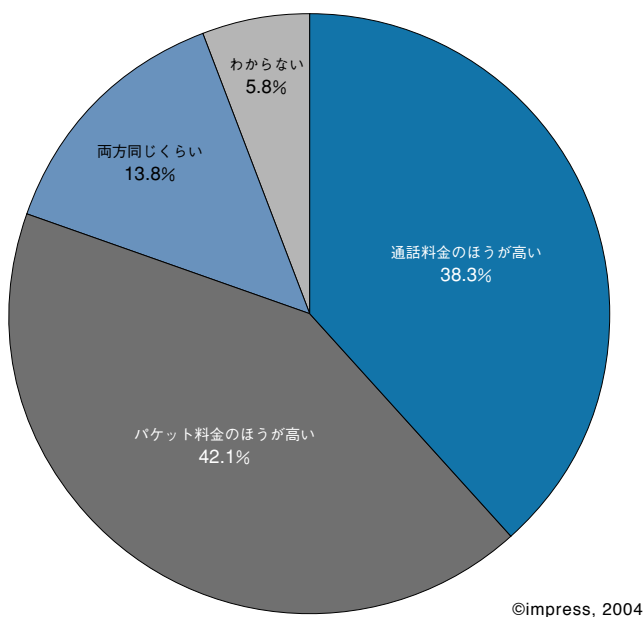
資料3-1-5 1か月に支払う携帯電話の料金 N=2,000



1か月に支払う携帯電話の料金は、5,000円未満が51.4%と約半数を占める。10,000円超は約1割、20,000円超になると1.1%しかおらず、月に数万円も支払うヘビーユーザーはごく一部ということがわかる。また、「わからない」という回答が0.4%しかないことから、常に料金を意識して携帯電話を利用しているユーザーが多いことが読み取れる。

### 通話料よりパケット料が高いユーザーが4割を超える

資料3-1-6 パケット料金と通話料金の比較 N=2,000

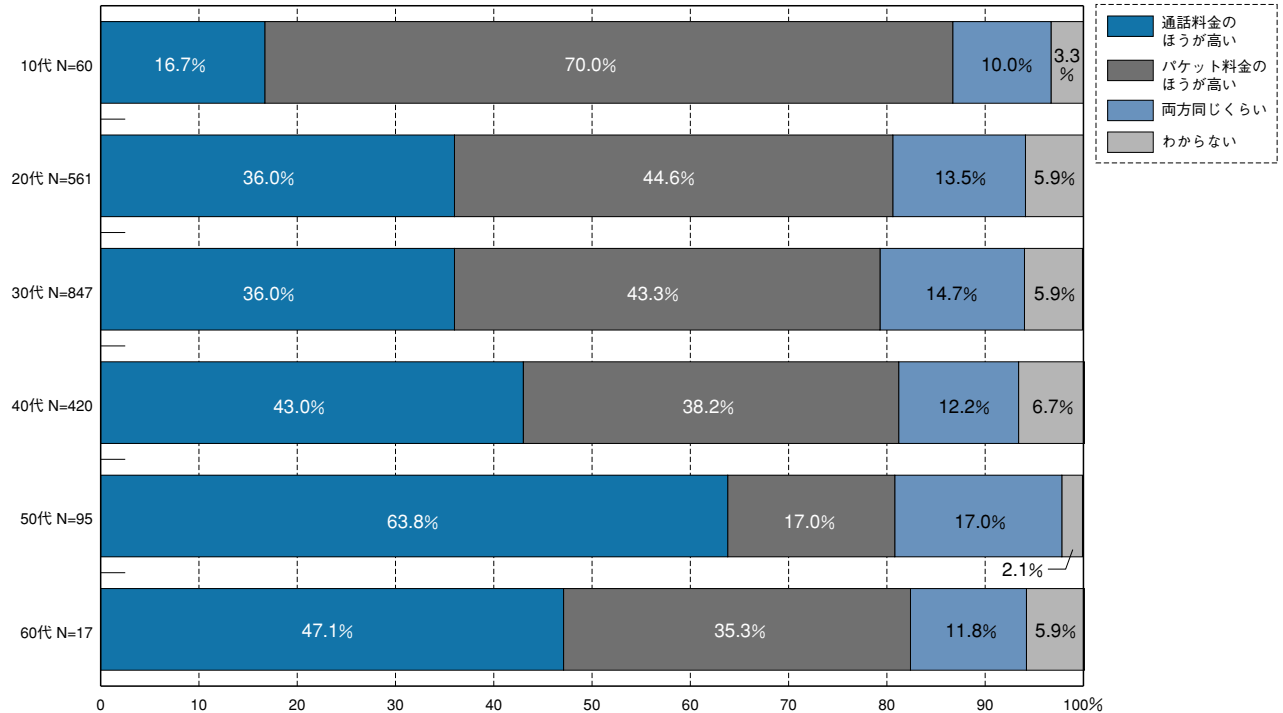


パケット料金と通話料金の内訳では、通話料のほうが高いが38.3%、パケット料のほうが高いが42.1%と、僅差ながら通話料よりパケット料をより多く払っている利用者のほうが多い。月に支払う料金については「わからない」は0.4%だったが、パケット料と通話料の比較では「わからない」が5.8%を占め、一部のユーザーでは料金内訳には関心が薄いことがわかる。

利用料金とパケット利用

30代以下はパケット料金、40代以上は通話料金のほうが高い

資料3-1-7 年代別 パケット料金と通話料金の比較



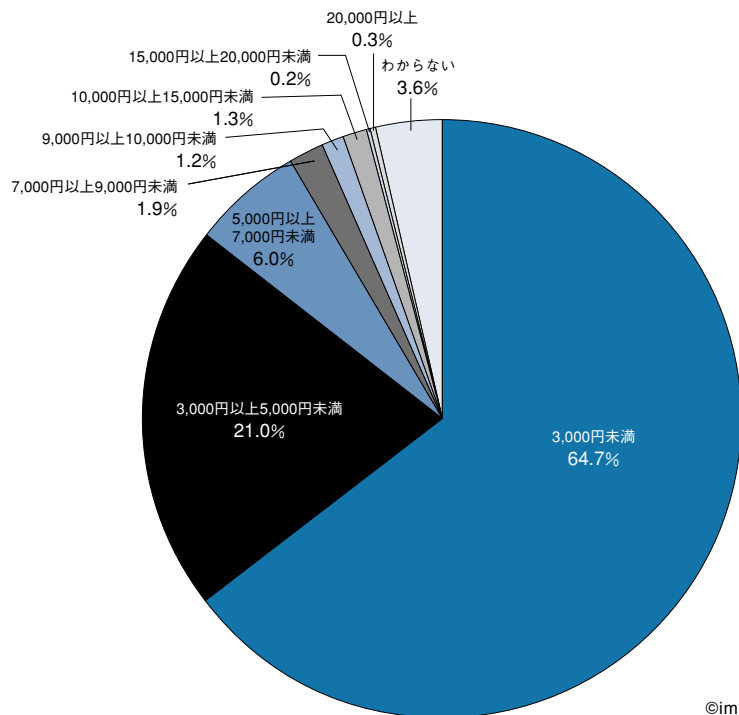
30代以下ではパケット料金のほうが高く、40代以上では通話料金のほうが高い。年代別に見たパケット料金と通話料金の比較では、若年層ほどパケット料金のほうが高い傾向が見られる。この結果は、若年層ほど携帯電話でのインターネットの利用頻度が高く、通話よりメール用途が主という調査結果ときれいに符合する。

©impress, 2004

## 利用料金とパケット利用

### 1か月のパケット料は5,000円未満が8割以上

資料3-1-8 1か月に支払うパケット料金 N=1,993

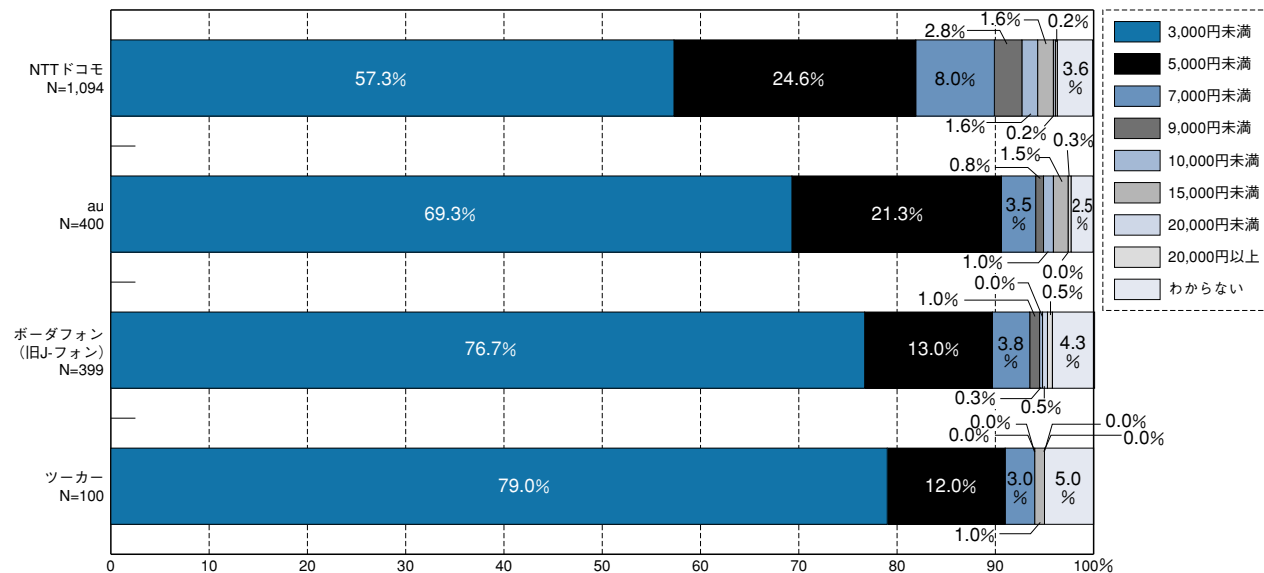


1か月に支払うパケット料金は3,000円未満が64.7%と半数以上、3,000円以上～5,000円未満が21.0%で、5,000円未満の利用者が85.7%と大多数を占める。10,000円を超える利用者はわずか1.8%で、携帯電話によるインターネットの利用頻度は上がっているものの、利用者が料金に留意しつつメール中心に利用していることがうかがえる結果となった。

©impress, 2004

### パケット料金を最も多く支払っているのはNTTドコモ利用者

資料3-1-9 通信サービス会社別 1か月に支払うパケット料金



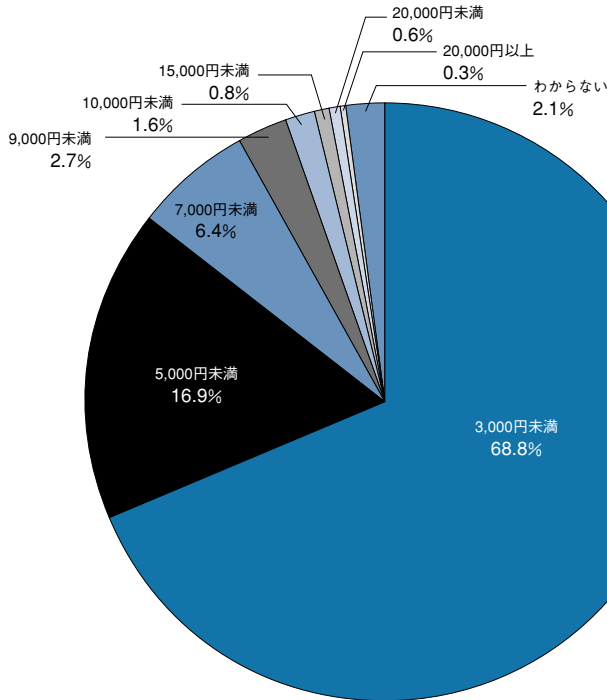
通信サービス会社別に見た1か月のパケット料金では、多いほうから、NTTドコモ、au、ボーダフォン（旧J-フォン）、ツーカーの順となった。NTTドコモ利用者では5,000円以上が14.4%を占め、7.1%のau、6.1%のボーダフォン（旧J-フォン）、4.0%のツーカーなど他社と比較して、パケット料金を多く支払っている利用者が多い。

©impress, 2004

利用料金とパケット利用

1か月の通話料金も5,000円未満が8割以上

資料3-1-10 1か月に支払う通話料金 N=1,993

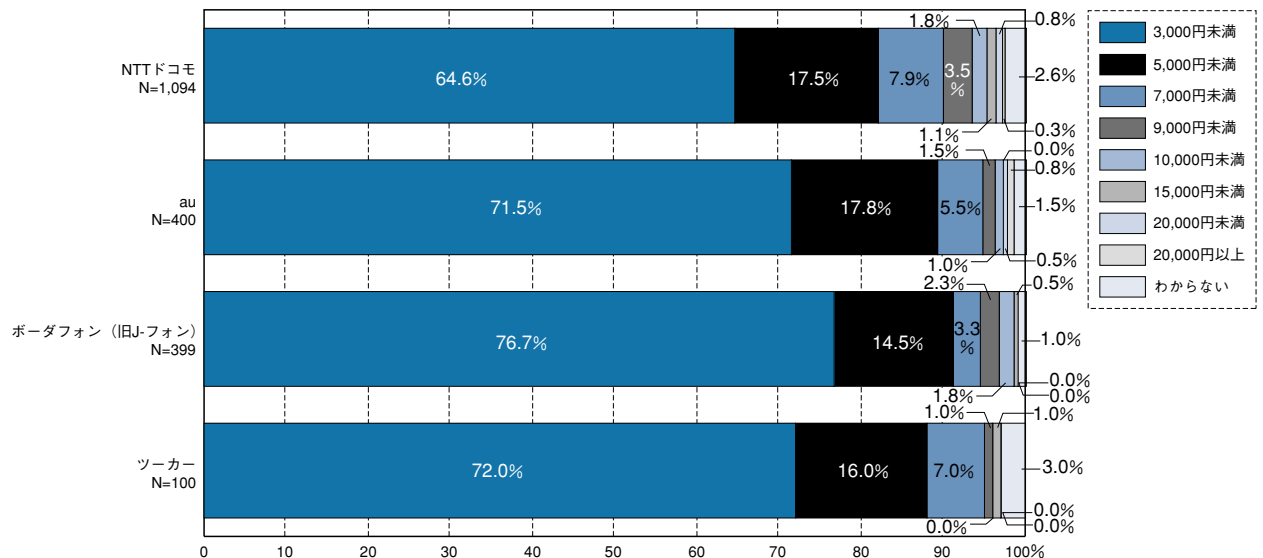


1か月に支払う通話料金が3,000円未満の利用者は68.8%。5,000円未満では84.7%で、いずれもパケット料金と比べてほぼ同率に近い結果となった。10,000円を超える利用者は1.7%で、こちらもパケット料金の1.8%とほぼ同程度。若年層ではメールなどインターネット利用が主用途となっていることから、今後はパケット料が通話料を上回ると考えられる。

©impress, 2004

1か月通話料金もNTTドコモユーザーが最も高額

資料3-1-11 通信サービス会社別 1か月に支払う通話料金



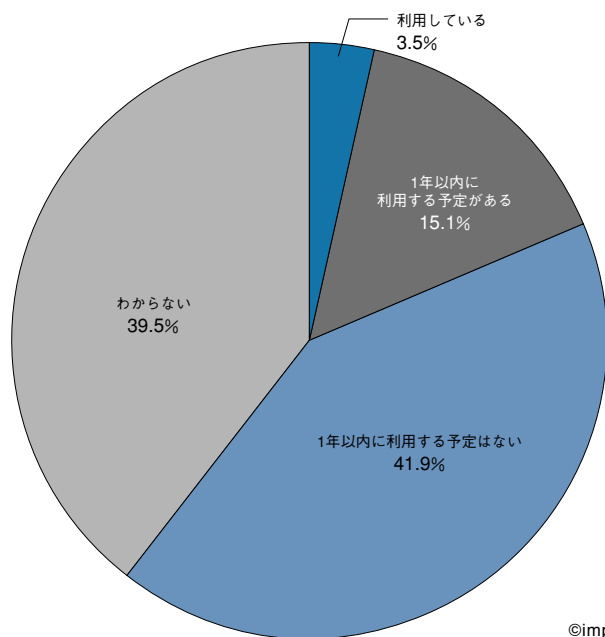
サービス会社別では、1か月のパケット料金はNTTドコモ利用者が最も高額を支払っているが、通話料金についても、平均してNTTドコモユーザーが最も高額を支払っている。これにau、ツーカーと続き、1か月の通話料が最も低額なのがボーダフォンユーザーという結果となった。

©impress, 2004

## 利用料金とパケット利用

### パケット定額サービスを「利用中」「利用予定」は全体で2割切る

資料3-1-12 パケット定額サービスの利用状況 N=2,000

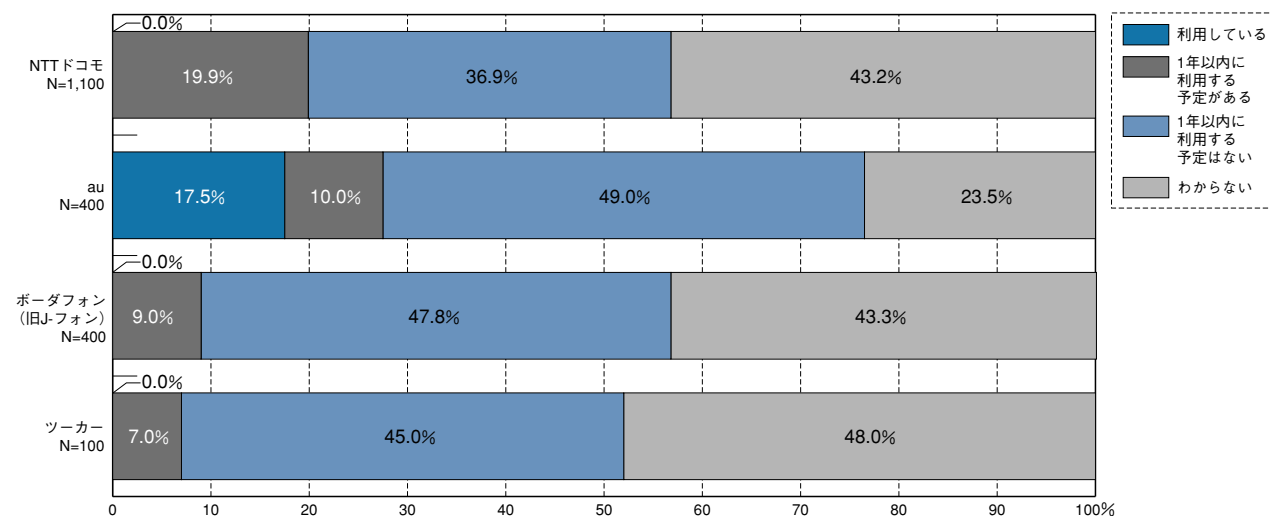


©impress, 2004

本調査時には、実際にパケット定額サービス提供しているのはauのみ。NTTドコモは月3,900円のパケット定額サービスを6月1日より開始する。いずれも月額基本料金は別途で、月の料金総額はauが8,100円から、NTTドコモは10,600円からと、利用者が支払う平均金額よりは高めの設定だ。このため、「1年以内に利用する予定がある」は15.1%に止まっている。

### auユーザーの2割弱がパケット定額サービスを利用

資料3-1-13 通信サービス会社別 パケット定額サービスの利用状況



©impress, 2004

auは2003年11月28日よりパケット定額サービス「EZフラット」を開始。本調査時にはサービス開始から約5か月しか経過していないが、auユーザーでは「利用している」が17.5%と、すでに多くのユーザーが利用している。今後の利用意向では、定額サービスの6月開始を発表しているドコモが最も高く、19.9%が「1年以内に利用する予定がある」としている。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)